

# Windows LDAPサーバからJabberプロフィール写真をダウンロードします。

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[コンフィギュレーション](#)

- [1. 「CodeTwo Active Directory Photos」ソフトウェアをインストールします。](#)
- [2. 「CodeTwo Active Directory Photos」でLDAPユーザを検索します。](#)
- [3. プロフィール画像をアップロードします。](#)
- [4. 「CodeTwo Active Directory Photos」のプロファイル画像を確認します。](#)
- [5. Active Directoryでのユーザープロフィール画像の関連付けを確認します。](#)
- [6. LDAPサーバがエンドユーザのUCサービスプロファイルにディレクトリサービスとして追加されていることを確認します。](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Windows LDAP(Lightweight Directory Access Protocol)サーバユーザからJabberプロフィールの写真をダウンロードする方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

Cisco Unified Communications Manager ( CUCM )

Cisco Jabber

Windows Server

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

CUCM バージョン 12.5.1.14900-63

Cisco Jabberバージョン14.1.5.57909

Windows Serverバージョン2016

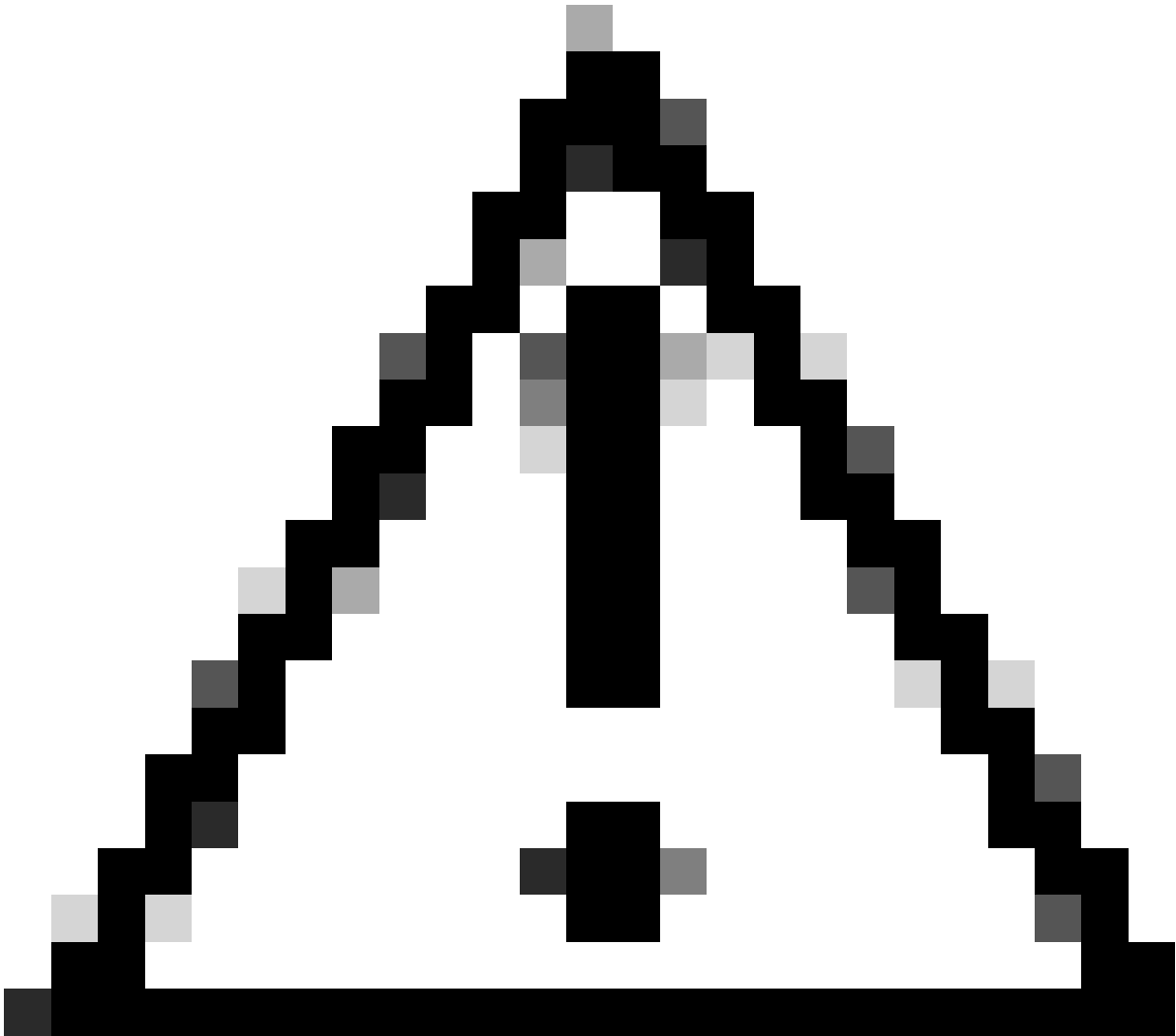
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 設定

### コンフィギュレーション

Windows LDAPサーバユーザからJabberプロフィール画像をダウンロードする設定手順は次のとおりです。

1. 「CodeTwo Active Directory Photos」ソフトウェアをインストールします。
2. 「CodeTwo Active Directory Photos」でLDAPユーザを検索します。
3. プロフィール画像をアップロードします。
4. 「CodeTwo Active Directory Photos」のプロフィール画像を確認します。
5. Active Directoryでのユーザープロフィール画像の関連付けを確認します。
6. LDAPサーバがエンドユーザのUCサービスプロフィールにディレクトリサービスとして追加されていることを確認します。



注意:CUCMのローカルユーザではなく、LDAP同期ユーザを使用してJabberがログインしていることを確認してください。

---

1. 「CodeTwo Active Directory Photos」ソフトウェアをインストールします。

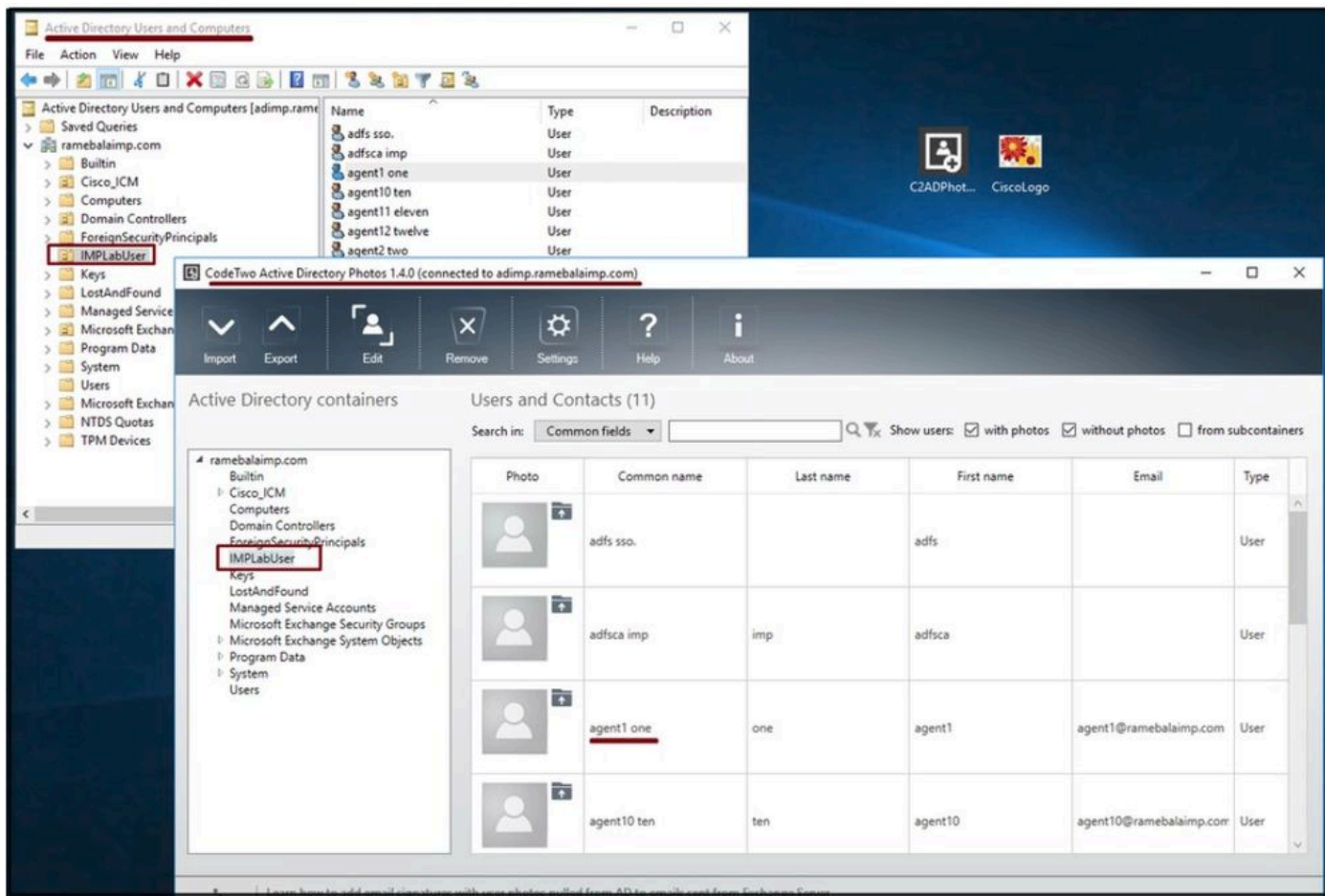
「[CodeTwo Active Directory Photos](#)」ソフトウェアを[CodeTwo Active Directory Photos](#)リンクを使用してダウンロードします。

Windows LDAPサーバにソフトウェアをインストールします。

2. 「CodeTwo Active Directory Photos」でLDAPユーザを検索します。

インストールが完了したら、ソフトウェアを開きます。

次のスクリーンショットに示すように、特定のOU（組織単位）の下にすべてのユーザが表示されている必要があります。

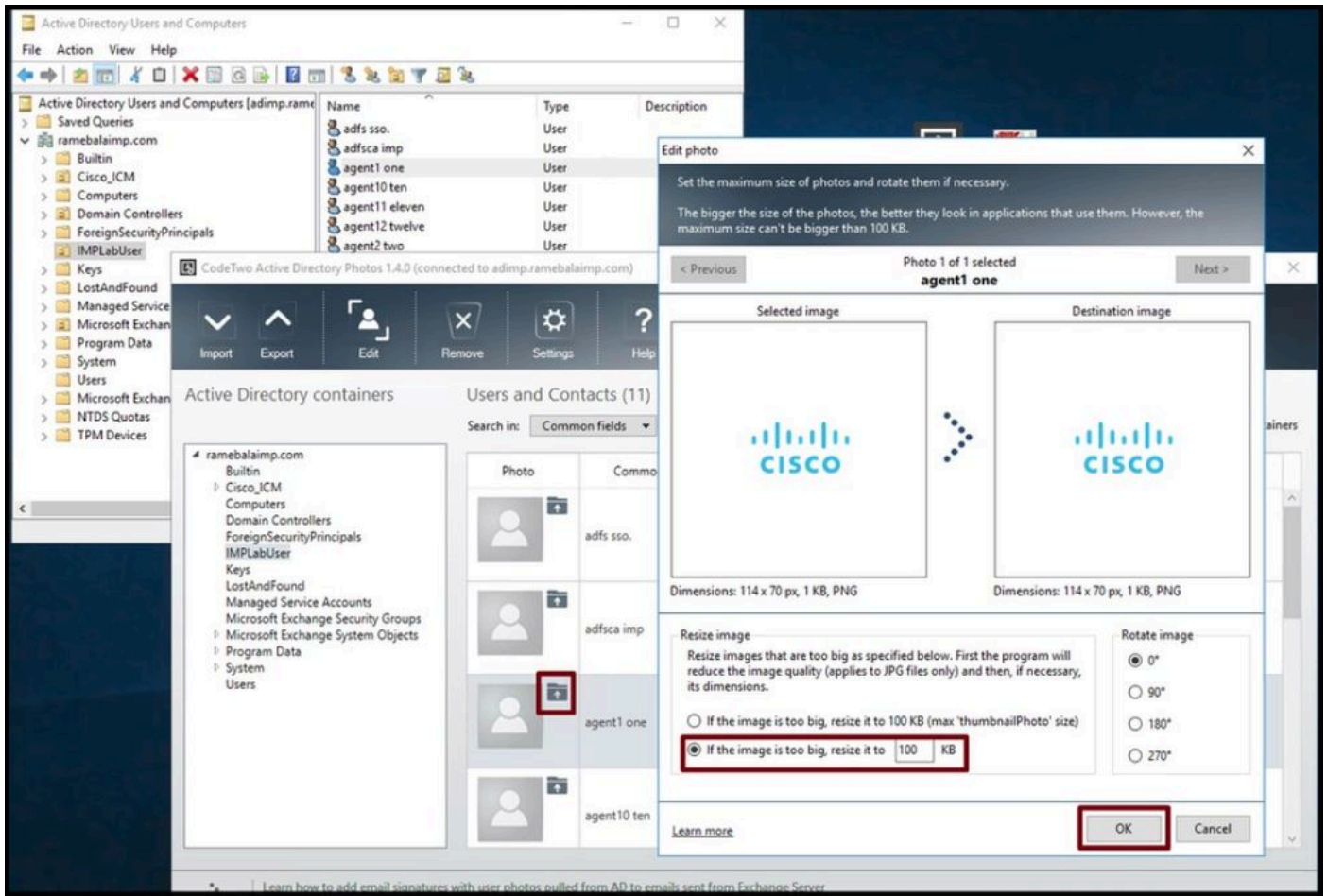


LDAPサーバからのユーザは、「CodeTwo Active Directory Photos」ソフトウェアインターフェイスに表示されます。

### 3. プロフィール画像をアップロードします。

写真をLDAPサーバにアップロードする前に、写真の寸法が要件に一致していることを確認してください。

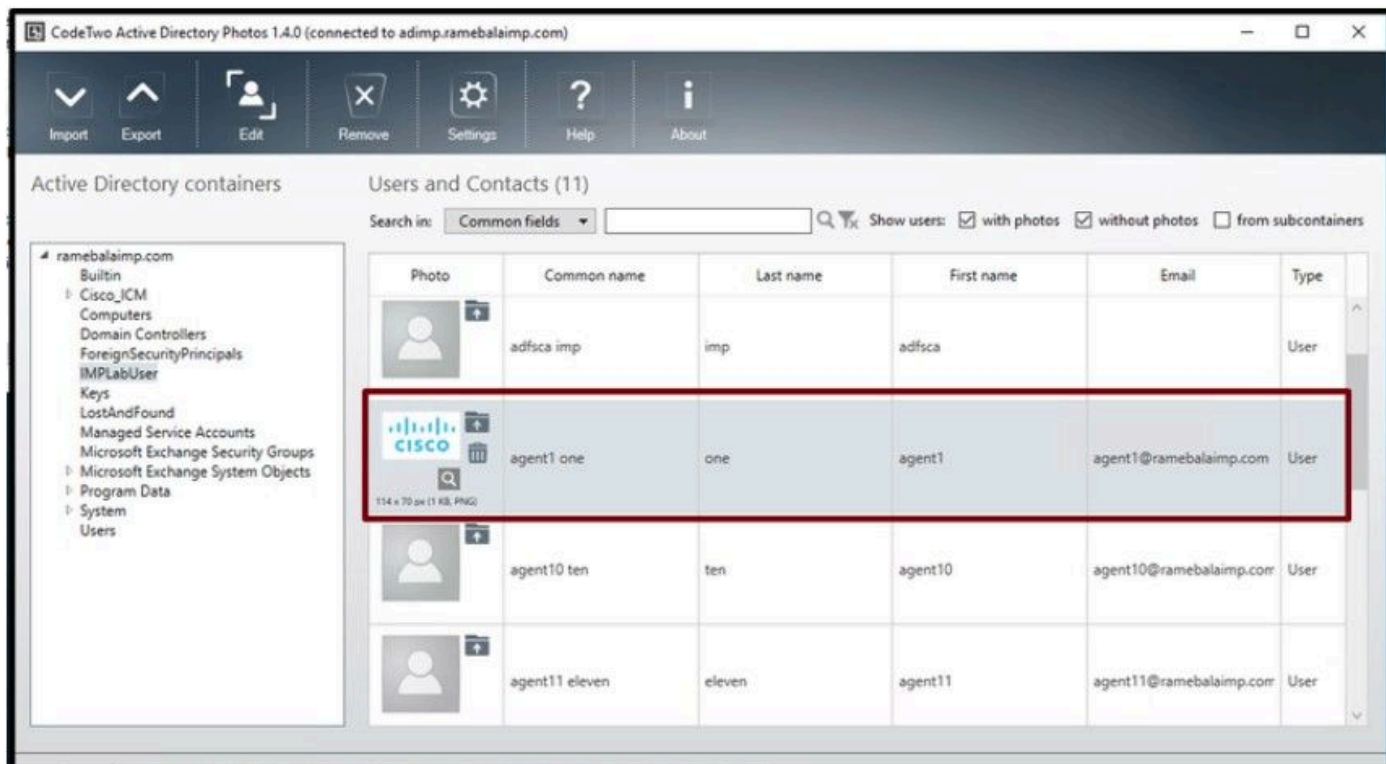
ユーザのアップロードアイコンをクリックし、写真を参照してOKボタンをクリックし、アップロード操作を完了します。



ユーザにイメージをアップロードします。

#### 4. 「CodeTwo Active Directory Photos」のプロファイル画像を確認します。

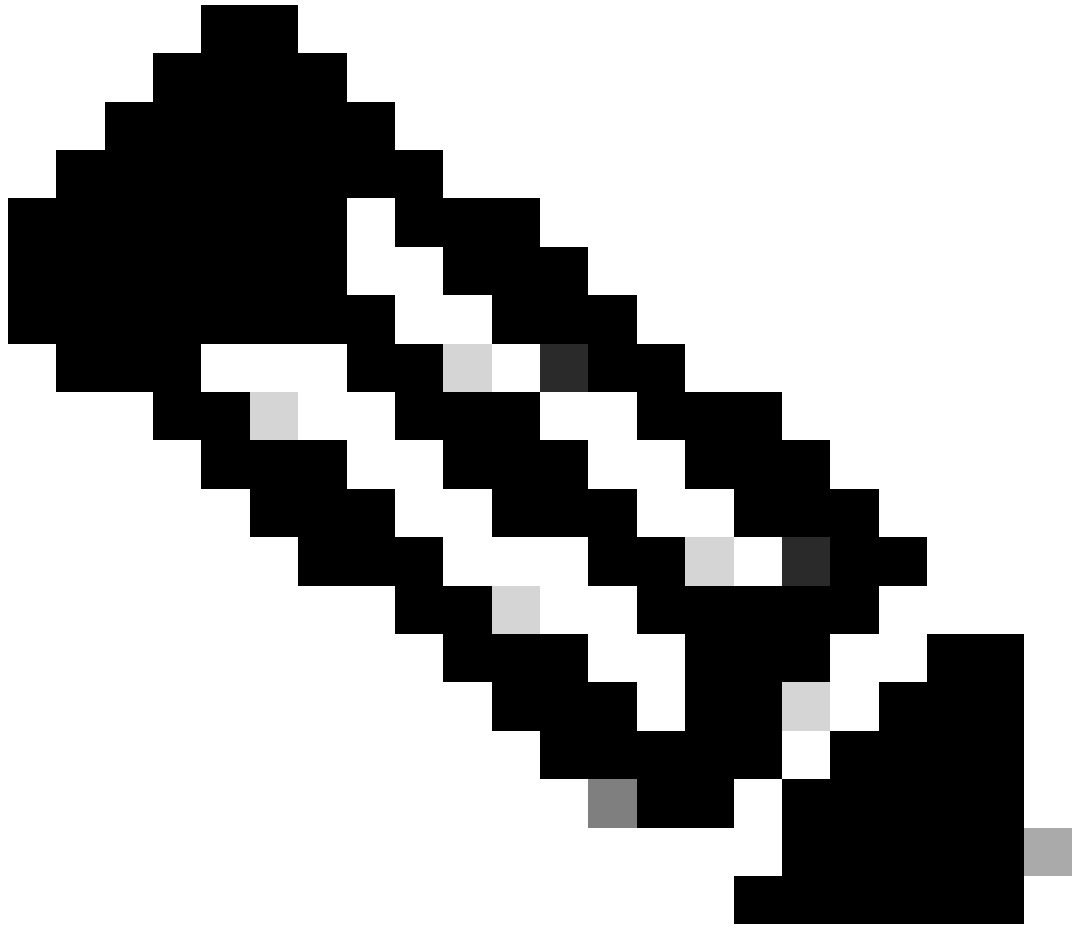
写真をアップロードすると、次のスクリーンショットに示すように、写真がユーザの前に表示されます。



ユーザーのイメージが更新されました。

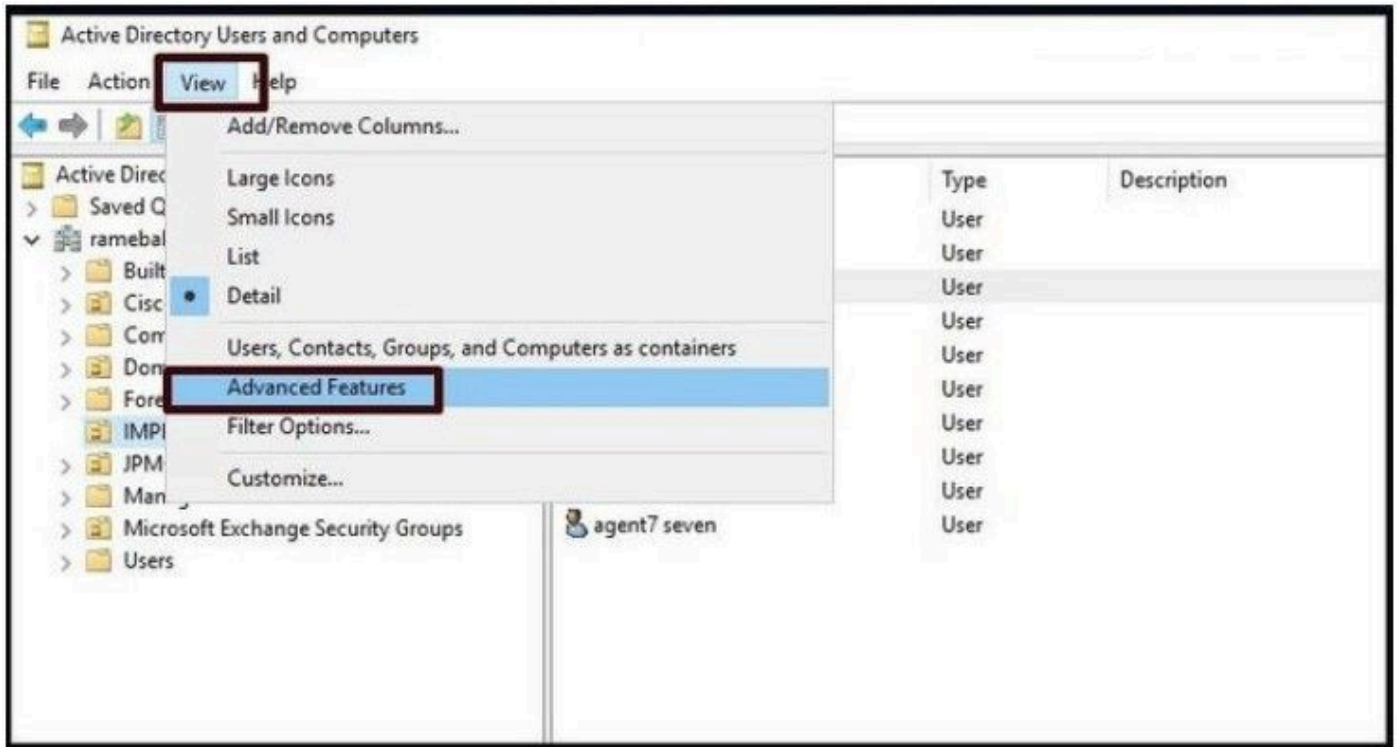
5. Active Directoryでのユーザープロフィール画像の関連付けを確認します。

「Active Directory Users and Computers」ウィンドウで「View」タブをクリックし、「Advanced Features」オプションをチェックします



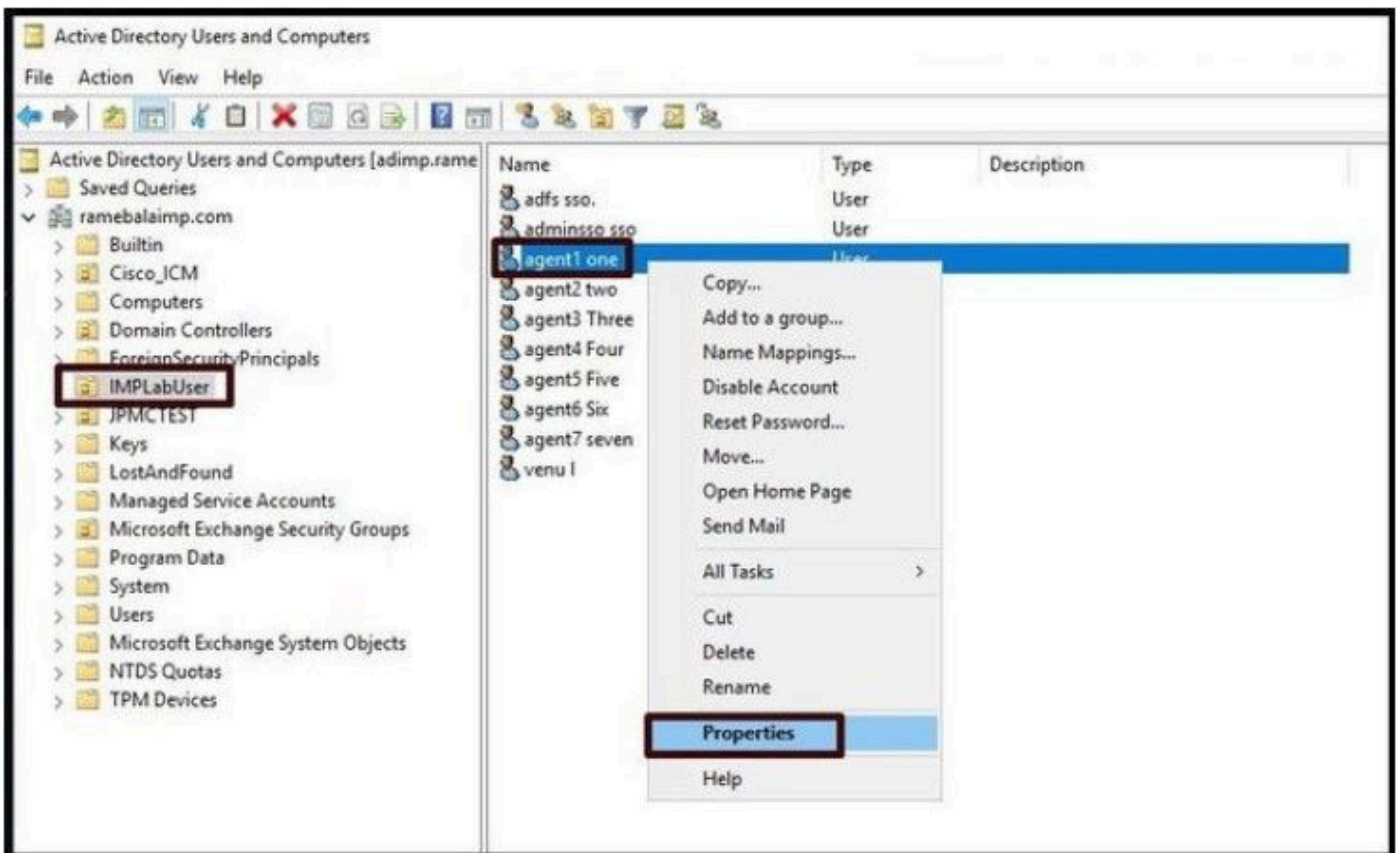
注：この手順の後、ViewタブのAdvanced Featuresの前にチェックマークが表示されます。

---



Active Directoryユーザーとコンピューターの拡張機能を有効にします。

ドメインの下で組織単位(OU)を使用してエンドユーザを検索します。  
 ユーザを右クリックして、Propertiesを選択します。

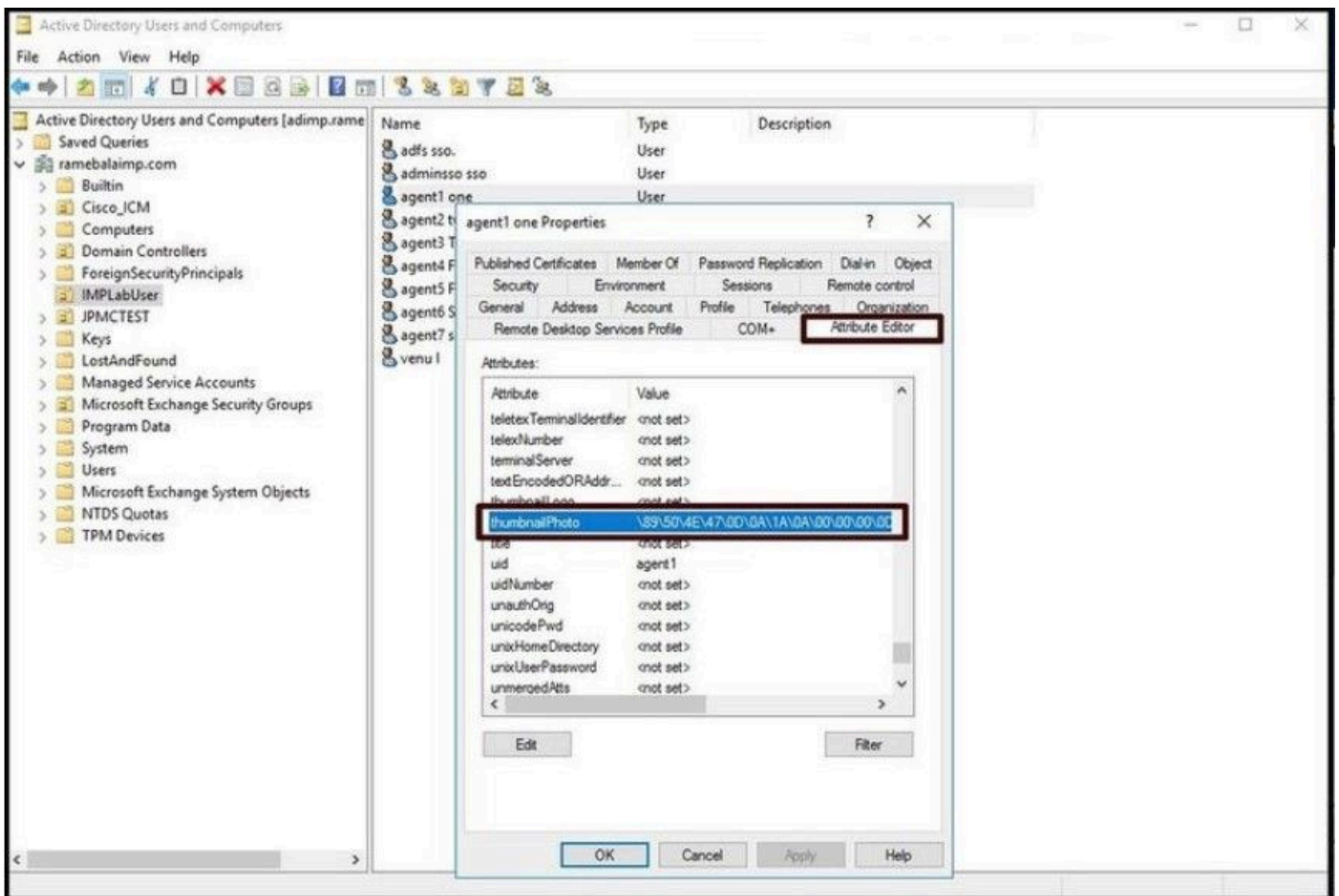


ユーザのプロパティを開きます。

「Attribute Editor」タブをクリックし、次のスクリーンショットに示すように、「



thumbnailPhoto」セクションに値が表示されることを確認します。これにより、写真がLDAPユーザに正しく関連付けられていることを確認できます。

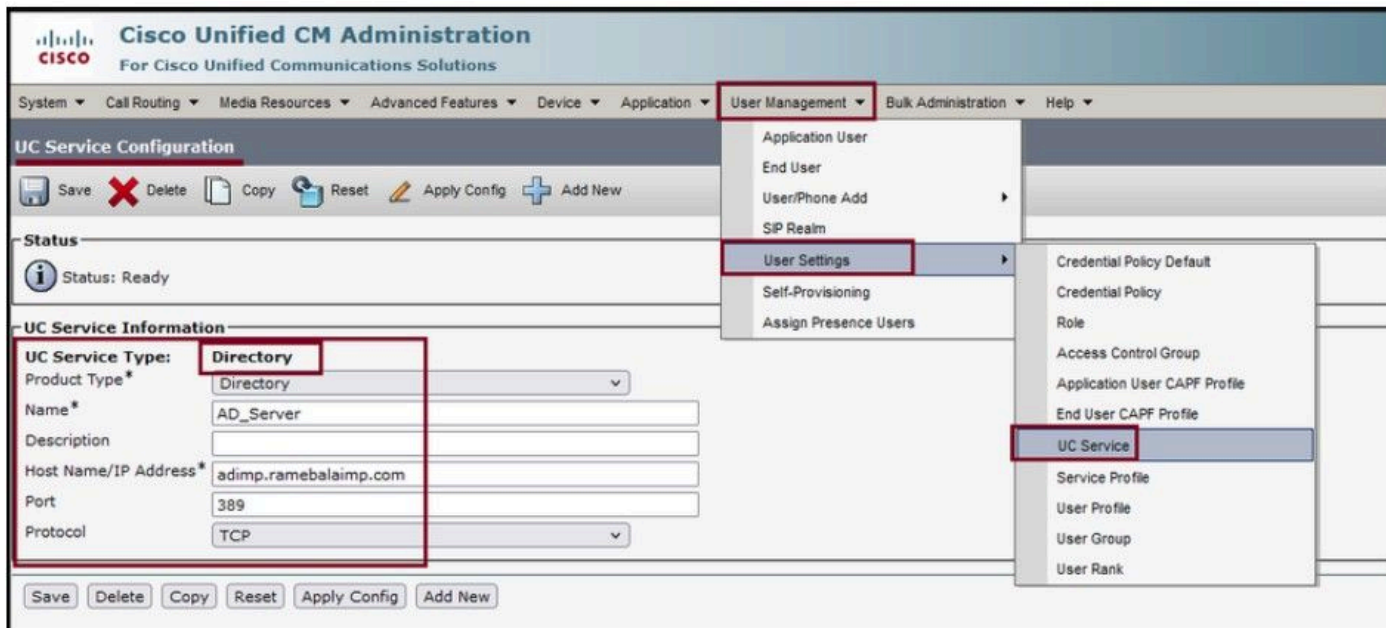


Confirm thumbnailPhotoフィールドが値で更新されます。

6. LDAPサーバがエンドユーザのUCサービスプロファイルにディレクトリサービスとして追加されていることを確認します。

CUCM Administration Webインターフェイスにログインし、User Management > User Settings > UC Serviceの順に移動します。

LDAPサーバ情報を使用してディレクトリサービスを追加します。



ディレクトリサービスを追加します。

User Management > User Settings > Service Profileの順に移動します。

エンドユーザに割り当てられているサービスプロファイルを開き、作成したディレクトリプロファイルをサービスプロファイルに割り当てます。

The screenshot displays the Cisco Unified CM Administration web interface. At the top, the navigation menu includes 'System', 'Call Routing', 'Media Resources', 'Advanced Features', 'Device', 'Application', 'User Management', 'Bulk Administration', and 'Help'. The 'User Management' menu is expanded, showing options like 'Application User', 'End User', 'User/Phone Add', 'SIP Realm', 'User Settings', 'Self-Provisioning', and 'Assign Presence Users'. The 'User Settings' option is highlighted, and its sub-menu is visible, listing 'Credential Policy Default', 'Credential Policy', 'Role', 'Access Control Group', 'Application User CAPF Profile', 'End User CAPF Profile', 'UC Service', 'Service Profile', 'User Profile', 'User Group', and 'User Rank'. The 'Service Profile' option is also highlighted in this sub-menu.

The main configuration area is divided into several sections:

- Service Profile Configuration:** Includes fields for Primary, Secondary, and Tertiary profiles (all set to '<None>'), Server Certificate Verification (set to 'Any'), and a dropdown for 'Credentials source for web conference service' (set to 'Not set').
- Directory Profile:** Includes fields for Primary, Secondary, and Tertiary profiles (Primary is 'AD\_Server'). It has checkboxes for 'Use UDS for Contact Resolution' and 'Use Logged On User Credential'. The 'Username' field is set to 'administrator', and the 'Password' field is masked with dots. There are also fields for 'Search Base 1', 'Search Base 2', 'Search Base 3', 'Recursive Search on All Search Bases' (checked), 'Search Timeout (seconds)' (set to '5'), 'Base Filter', and 'Predictive Search Filter'. A checkbox for 'Allow Jabber to Search and Add Security Groups' is present.
- IM and Presence Profile:** Includes fields for Primary, Secondary, and Tertiary profiles (Primary is 'impSub', Secondary is 'impPub').
- CTI Profile:** Includes fields for Primary and Secondary profiles (Primary is 'CUCMpub', Secondary is 'CUCMsub').

作成したディレクトリプロファイルをサービスプロファイルに割り当てます。

同じUCサービスプロファイル(ディレクトリプロファイル付き)がエンドユーザに関連付けられていることを確認します。

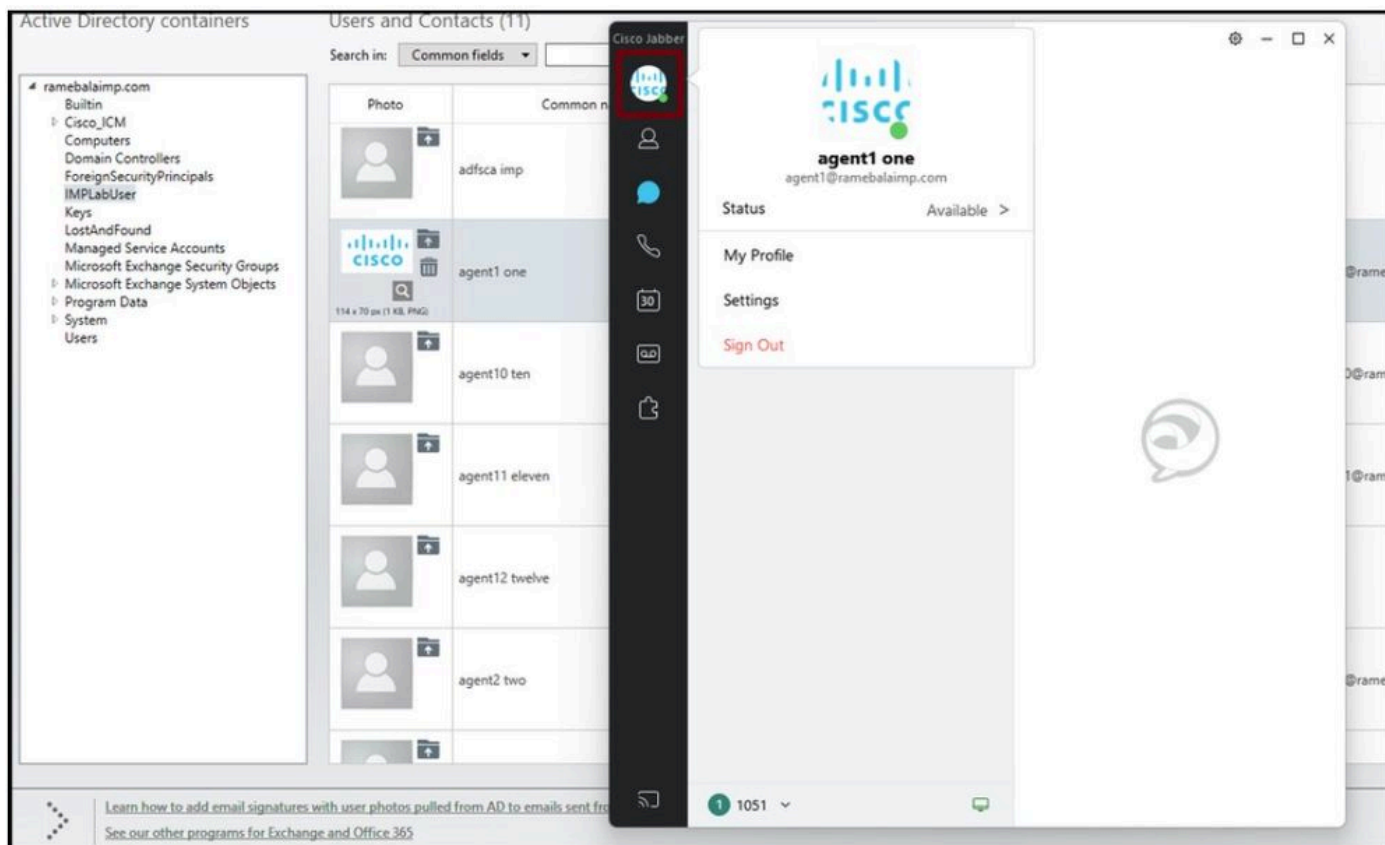
The screenshot shows the Cisco Unified CM Administration interface. The top navigation bar includes 'System', 'Call Routing', 'Media Resources', 'Advanced Features', 'Device', 'Application', 'User Management', 'Bulk Administration', and 'Help'. The 'User Management' menu is open, showing options like 'Application User', 'End User', 'User/Phone Add', 'SIP Realm', 'User Settings', 'Self-Provisioning', and 'Assign Presence Users'. The 'End User' option is selected. The main content area is titled 'End User Configuration' and contains a form for user configuration. The form is divided into sections: 'User Information', 'Convert User Account', and 'Service Settings'. In the 'User Information' section, the 'User ID\*' field is highlighted with a red box and contains the value 'agent1'. Other fields include 'Self-Service User ID' (6123), 'Last name\*' (one), 'First name' (agent1), 'Display name' (agent1 one), 'Mail ID' (agent1@ramebalaimp.com), and 'User Profile' (Use System Default( "Standard (Factory Default) U). In the 'Service Settings' section, the 'UC Service Profile' dropdown is highlighted with a red box and contains the value 'JabberServiceProfile'. The 'Home Cluster' checkbox is checked, and the 'Enable User for Unified CM IM and Presence' checkbox is also checked. The 'Convert User Account' section has an unchecked checkbox for 'Convert LDAP Synchronized User to Local User'.

UCサービスプロファイルがエンドユーザーに割り当てられていることを確認します。

Jabberをリセットしてログインします。

## 確認

正常にログインすると、アップロードされたプロファイルの写真がJabberに表示されます。



プロフィールの写真がJabberに表示されます。

## トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

この記事がお役に立てば幸いです。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。